

【六戸町】 農山漁村の「地域経営」取組事例

六戸町地域担い手育成総合支援協議会の取組

六戸町は、水稲・露地野菜を組み合わせた個別複合経営が多いのが特徴です。課題としては、農家の高齢化と後継者不足があげられます。

六戸町地域担い手育成総合支援協議会では、例年1月下旬から2月上旬に、六戸町営農講座を開催し、担い手の育成と資質向上に取り組んでいます。

1 担い手農業者への支援

当協議会で例年1月下旬～2月上旬に開催する六戸町営農講座は、魅力ある農業経営及び経営発展に必要な基礎知識や専門技術の習得を支援するため、各種の講座を開催し、優れた知識や新たな技術の習得により、農業の生産性の向上と経営の安定を図ることを目的としています。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ中止となりましたが、令和4年度は開催予定です。

※写真は令和2年度の営農講座の様です。



(農業に役立つ気象情報の講話)



(水稲の生育と作柄についての講話)